

平成 22 年度病害虫発生予察注意報第 6 号

平成 23 年 2 月 17 日
鳥取県病害虫防除所

注意報の概要

県東部のラッキョウほ場において白色疫病の発生が多くなっており、多発ほ場も散見される。現在、積雪によって防除が困難なほ場では、雪が解け次第、早急な防除が必要である。また、現在発生が少ないほ場においても、今後の気象条件によっては多発する恐れがあり、防除の徹底が必要である。

病害虫名：ラッキョウ白色疫病

- 1 対象作物 ラッキョウ
- 2 発生地域 県 東 部
- 3 発生時期 平 年 並
- 4 発 生 量 多 い
- 5 注意報発令の根拠

- (1) 2 月 16 日現在、県東部における白色疫病の発病株率は 14.1%と平年に比べて多く、特に雪解けの遅れている場所で多発ほ場が散見される(表 1)。
- (2) 長期間積雪下にあったことなどから、葉の傷みが激しいほ場が多く、そのようなほ場では発病が助長されやすい。
- (3) 本病は、降雪後の雪解け水や連続降雨により、発病が急速に広がりやすい。今後も雪や雨の日が多いと予想されるため、現在発生が少ないほ場でも、気象条件によっては多発する恐れがある。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 現在、積雪のあるほ場では、雪解け後直ちに、リドミル MZ 水和剤 500 倍液又はホライズンドライフフロアブル 1,000 倍液を、展着剤を加用して散布する。
- (2) その他のほ場においても、降雪後や降雨が続く場合の雨の止み間に、上記薬剤に加えてフロンサイド水和剤 1,000 倍液などを輪番散布する。
- (3) 罹病株は、翌年の発生源ともなるので、適切に処分する。
- (4) 白色疫病が多発すると、春期に灰色かび病が多発しやすいため、灰色かび病の発生に注意し、早めに防除を行う。

表 1 県内ラッキョウほ場における白色疫病の発生状況(2 月 16 日調査)

調査地点	調 査 ほ場数	発 生 ほ場数	発病株率(%)
鳥取市福部町	10	8	14.1(平年:3.8)
東伯郡北栄町	5	2	0.3(平年:1.4)
合 計	15	10	9.5(平年:2.6)

平年値は H13～22 年の平均